

日本難病・疾病団体協議会「第18回定時総会」が開催されるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

5月23日の「難病の日」に先立ち、本日午前中には、記念イベントも開催されたと伺っております。

貴協議会におかれましては、病気や障害による障壁をなくし、人間の尊厳がなによりも大切にされる社会の実現を目標として活動をされていることに対しまして、深く敬意を表します。

難病法の基本理念に則り、難病の患者さんが長期にわたり療養生活を送りながらも社会参加の機会が確保され、地域社会で尊厳を持って他の人々と共生することを妨げられないことを重んじて、総合的な施策が講じられるべきです。

引き続き、医療をはじめとした対策の充実を図り、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる包摂的な社会を構築していくことが重要です。

新型コロナウイルスとの闘いが長く続いていますが、日本医師会といたしましては、すべての医療が必要な方に対して、安心して平等に医療を受けられるよう、国民の皆様へより良い医療を提供するため、引き続き尽力してまいります。

本総会の開催にあたりご尽力されました、吉川祐一代表理事を始め、関係者の皆様に深く敬意を表し、本日ご参加の皆様方のご活躍を祈念いたします。

公益社団法人日本医師会
会長 中川俊男